

戦争法廃止「5・7」出雲行動

福住氏、大田県議、後藤・吉井市議が参加

戦争法の廃止を求める「5・7行動」(同実行委



員会主催)が7日、出雲市で行われました。

18人が集い、「平和憲法を世界に広げよう」「9条を守ろう」と声を上げていこう」と市民にアピールしました。(写真)

政党からは、日本共産党の福住ひでゆき参院鳥取・島根選挙区予定候補、大田陽介県議、後藤由美、吉井安見の両市議が参加しました。

に乗じて、国内で軍備増強や核兵器の持ち込み、敵基地攻撃能力の保有が狙われているとして「とんでもない議論だ。9条を守り、世界に広げていく運動を続けよう」とあいさつしました。

と強調し、9条を守り生かす政治に変えるために「憲法を守る決意訴える」



松江 憲法を守る決意訴える

日本国憲法が施行されて75周年の3日、松江市では、日本共産党の福住ひでゆき参院鳥取・島根選挙区予定候補が、尾村利成県議、舟木健治、橋ふみ両市議、岩田剛東部地区委員長とともに、憲法を守り生かす決意を述べました。(写真)

福住氏は、ウクライナ危機に乗じて、岸田政権が敵基地攻撃能力や軍事費2倍化をねらい、維新の会も米国の核共有をすすめるべきだと主張した。

メイクピースの集い

「憲法9条は世界の宝メイクピースの集い」(憲法改悪反対!5・3実行委員会)主催)が3日、松江市内で開かれ、東京新聞記者の望月衣塑子氏が「ジャーナリズムと憲法の危機」と題して講演し、約300人が熱心に聞き入りました。

望月氏は、ウクライナ危機に乗じて自民党安保調査会が政府に「敵基地攻撃能力」を「反撃能力」と言い換え、攻撃対象に「指揮統制機能等」を追加し、防衛予算GDP2%以上への増額を提言していることや、核シェアの議論と合わせ危険性を指摘。「憲法とは、権力者が個人の自由や尊厳を奪うことに抵抗するためのもの」と強調しました。

戦争に勝者なし——戦争は政治の敗北

公示まで45日。平和とくらしの進路がはげしくぶつかり合う参院選が迫りました。

ロシア・プーチン政権はウクライナ侵略をやめよ!私たちの声は、世界中で一つになって各国政府と国連を動かす、プーチン政権を包囲してきました。



前参院議員(弁護士)

にひ そうへい 西南の風

私が初めて戦場を訪ねたのは、米国のアフガニスタン侵略戦争のさなかでした。国境の難民キャンプまで10000キロの道のりを40日間かかってたどり着いた14歳の少年に「いま一番欲しいものは何?」と尋ねました。甘いものが欲しいとかサッカーボールが欲しいとかそんな言葉が返ってくる

かと思ったら、彼は「世界中の人たちに、アメリカの戦争に反対して欲しい。僕らは平和に暮らしてきたんですから」と懸命に訴えました。

「どんな紛争も戦争にはしない」——国連憲章に基づく平和の秩序を何としても回復する。「核兵器は人類と共存



5月3日、北九州市のJR小倉駅前にて

「そんな勢力に、参議院でも、憲法改悪を国民に押し付ける3分の2以上の議席を握らせるわけには、絶対にいきませ

(5月8日記)

島根原発2号機再稼働認めるな

「原発ゼロの会」が丸山知事に要請

「原発ゼロをめざす島根の会」は4月21日、丸山達也知事に対し、中国電力を動かす

力島根原発2号機の再稼働は認めず、「原発から撤退し、省エネと豊かな自然環境を生かした再生可能エネルギーの先進県づくりに進めてほしい」と要望しました。(写真)

岡崎由美子(弁護士)、山崎泰子の両共同代表、舟木明美事務局局長ら4氏が県庁を訪れ、日本共産党の尾村利成、大田陽介の両県議、橋ふみ松江市議が同席しました。



自治労連しまね事務所、石田忍所長らは、病院や福祉施設、保育所などに実施した避難計画に関するアンケートで「避難先での生活について7割が対応不可能と答えている」との結果を示し、「当事者の意



見や声をもっと聞くべきだ」と迫りました。岡崎、山崎の両氏は、県議会島根原発対策特別委員会が4月13日、拙速な判断で2号機再稼働を了承したことについて、「不祥事を繰り返してきた中電の信頼は失われており、『工事計画認可』『保安規定変更認可』の審査が終わった後に判断すべき」と強調しました。県防災部の周山幸弘次長は「再稼働の判断にあたっては今後、総合的に判断していきます」と答えました。